

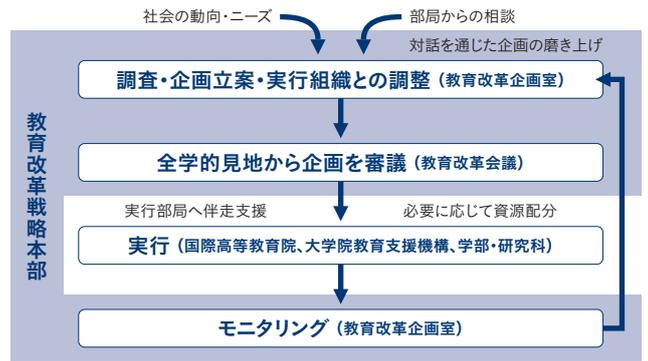
学生が国内外から集い、ともに学び、世界に羽ばたく大学に

「学びたい」をあらゆる面からサポート、グローバル人材を育成・輩出

教育改革戦略本部を創設

2025年4月、本学の教育全体を俯瞰し、本学が抱える教育上の複合的な課題の解決に向けた優れた施策を全学に展開し、効率的かつ横断的に教育改革を進める司令塔となる新たな全学機能組織として、教育改革戦略本部を設置しました。

教育改革戦略本部には社会の動向・ニーズや学部・研究科の課題を捉えて教育改革の立案・検証を担う教育改革企画室及び全学的な合意形成の場となる教育改革会議を置き、それらを両輪として、学士課程から博士課程までを包含する教育改革を強力に推進していきます。



優秀な留学生の積極的な獲得と多様化の促進 <https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>

Kyoto iUP (Kyoto University International Undergraduate Program)

京都大学では、入学段階での日本語能力を一切問わず、入学決定後に徹底した日本語教育を継続的に実施し、専門教育段階から日本語で講義等を行うことで、日本語で学部卒業レベル(あるいは修士課程や博士後期課程修了レベル)の専門知識を獲得した留学生を育成しています。この取組によって、単に言葉の壁を取り除き、世界中からトップレベルの留学生を学部段階から受け入れるだけでなく、企業や大学における先端的研究・開発が英語以外の言語で行われるという世界的にも稀な我が国の特性に対応し、グローバル展開を図る日本企業および日本経済そのものを牽引できる、きわめて高度な外国人留学生の輩出と日本社会への定着に貢献することを目指しており、さらに拡大していきます。2024年度には576名の出願者(55の国・地域)から24名(9の国・地域)を予備教育履修生として受け入れ、Kyoto iUP 生の総数(卒業生含む)は、118名(20の国・地域)となりました(2024年度末現在)。



少人数実践教育「ILASセミナー」第一線の研究者との対話を通じて京都大学での学びを体得

京都大学では、学生が自律的に課題を発見し解決する学問のプロセスを体験し、その楽しさと意義を実感できるよう、新入生に履修を推奨する科目として「ILASセミナー」を開講しています。この科目は、大学での勉学生活への円滑な導入を図ることを目的としています。

2024年度は、270クラスの多様なテーマで開講され、そのうち69クラスは英語で実施されました。学生は、自ら考え、読み、議論し、書くという能動的な学習を通じて、主体的な学びの重要性を理解し、アカデミック・スキルの基礎を身につけます。ILASセミナーは、新入生が知的好奇心を育み、将来の学びの土台を築く上で不可欠な機会を提供しています。



インド・オーストラリアから短期インターンシップ生を受け入れ

—新たな地域から優秀な大学院留学生のリクルーティング—

Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program

大学院教育支援機構では、大学院留学生の増加を目指して短期インターンシップ「Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program」を実施しています。2024年5月～7月にはインドから、2025年1月～2月にはオーストラリアから、優秀な学生を受け入れました。選ばれた学生は、プログラム期間中、自身が選択した研究室で研究スキルを磨き、日本語授業や日本文化体験等に参加するなどしました。将来の本学大学院への進学、日本及び世界の産学界を牽引するグローバル人材の育成に繋がります。



社会の要請に応じた多様な大学院生・社会人向けプログラムを展開

1. 大学院教育支援機構 教育コース

多様化する社会ニーズに応える人材を育成するため、2024年度は5コース（「産学協同教育コース」「教育能力向上コース」「グローバル生存学コース」「デザイン学コース」「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース」）を開講し、177名が登録しました。大学院共通科目群・大学院横断教育科目群を活用することで、大学院生が専門領域を超えて様々な分野で活躍するための知識や技能を提供しています。



2. 京都大学のリカレント教育

『社会人の挑戦を支える知と実践のプラットフォーム』

現代社会では、急速な技術革新や社会構造の変化に伴い、学び直しや新たなスキルの習得に対する社会人の関心が高まっています。京都大学は、こうしたニーズに応えるべく、多岐にわたる教育プログラムを展開し、社会人が専門知識を深め、実践的スキルを向上させる機会を提供しています。



世界を舞台に研究を深め、 新たな知見を探求する機会を提供

大学院教育支援機構(DoGS)海外渡航助成金

大学院教育支援機構では、大学院教育のグローバル展開を強化するため、大学院生によるフィールド調査、国際学会での研究発表、海外での共同研究や研究指導など、さまざまな目的による海外渡航を幅広く支援しています。令和6年度は、257件の応募のうち61件を採択しました。